



## 学校への提言

学校アンケートでいただいた提言を紹介します。ありがとうございます。

●ルールが守られていないところがたくさんあると思います。学校・家庭でそれぞれしっかり伝えていけたらと思います。

●「ここまでは許されるが、そこからはしてはいけない。」という線引きをもう少しはっきり示し、学校側もぶれずに強く子どもに示すべきだと思います。

●自転車のマナーがとても悪い。ヘルメットはかぶらない、乗っていい範囲は守らない子がたくさんいる。自分の子は注意しているが知らない親がたくさんいる。

○規範意識の育成についてご意見をいただきました。ご心配をおかけしてもうしわけありません。さて、**学校も家庭も子どもたちに明確にルールを示し指導する**事はもちろん、わたしたちの間にある**ルールのとらえ方や基準**についてすりあわせを行っていくことは大切です。教員個々も各家庭も同じ考え方と基準でジャッジし指導しきることが大切なのだと思います。また、子どもたちに課題を見つけさせ、克服する方法を考えさせ、実行させることも大切です。自分達で考え、実行する、**By myself**の力を身に付けさせたいのです。そのために、学校では学級集団作りに力を入れています。よりよい集団に成長するためのクラス会議は

学級作りの代表的な手段です。子どもたちにルールを守ろうとする心の砦を築いていく大切な時間となっています。頑張ります。

また、私達自身もルールを遵守し、マナーを示し、**範となる大人**になりたいものです。

●今年度になって、登校班での登校がどんどんくずれています。地域での指導もなかなかできないので申し訳なく思いますが、地域の保護者会でも地域の方からも登校の悪さを言われることがあります。保護者の方にも、朝の登校班を見ていただくように伝えたこともあります。他地域はいかがでしょうか。事故が無くて何よりですが、今一度、登校班の意義を見直していただいてはどうでしょうか。

○ありがとうございます。登校班は集団登校による安全確保という直接的な目的と、異年齢の集団の中で上級生は下級生の登校に気を配ることで優しさや配慮を学び、下級生は上級生の姿から自分の将来の姿を学ぶという目的があります。上級生は日々の登校の中で**憧れの上級生**に変わり、下級生は**憧れの姿**を具体的に目にするのです。登校の姿が崩れているのは残念なことです。自分のことしか考えていないからなのです。登校班が上級生の優しいまなざしと下級生の憧れのまなざしに満ちていくように、学校も保護者も一緒になって指導していきたいと思っています。まず、**暖かいあいさつ**から始めましょう。

【うれしい話】 交通立番に立っていただいている方から「最近子どもたちのあいさつが良くなってきましたよ」とのお話を伺いました。うれしいです。

羽合小学校 寺谷英則